

高齢者交通安全5則「まみむめも」を守って事故防止

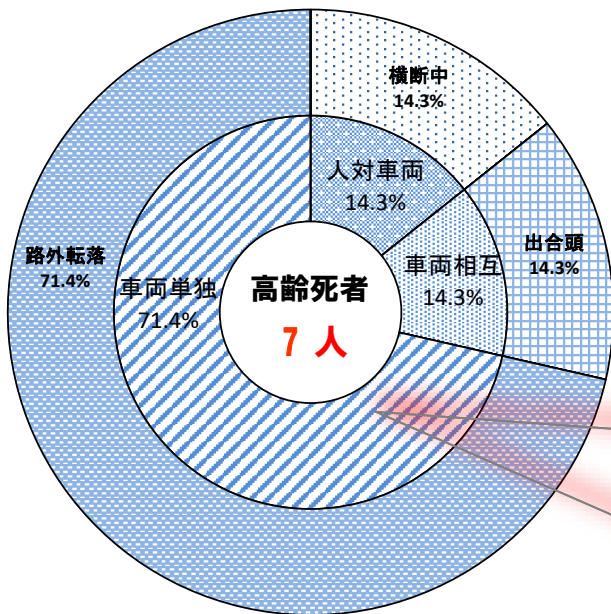
- ま** つ(つぎの安全を待つ)
- め** 立つ(夜光反射材を着用して目立つ)
- み** る(周囲の状況を見る)
- も** っと知る
(自分の身体機能の変化をもっと知る)
- む** りせず止まる
(交差点などでは無理せず止まる)



本年中の交通事故発生状況 (3月29日 現在)

(暫定値)

高齢者が関係する人身事故は **365** 件、うち死亡事故は **7** 件発生
(全人身事故の **35.6** %) (全死亡事故の **58.3** %)



車両単独の事故

7 人 (夜間 **3** 人)
うち路外転落... **5** 人
(夜間 **2** 人)

<事故防止のポイント>

- 前をよく見て運転に集中
- 夜間は上向き・下向きライトのこまめに切り替え

全交通事故死者 12 人のうち

高齢死者 7 人 (全死者の **58.3** %)

春の交通安全県民運動が実施されます

期間：4/6(月)～4/15(水)

スローガン：「思いやり ゆとりは無事故へ つづく道」

- 横断歩行者がいたら、一旦「**止まって**」進路を「**ゆずり**」しましょう。
- 夜間や明け方に外を出歩くときは、**夜光反射材を必ず着用し**、自分の身を「**まもり**」しましょう。
- 道路を横断する際は、**横断歩道を利用**しましょう。

～「ゆずる・とまる・まもる」～

4月10日(金)は
「交通事故死ゼロを目指す日」です!

